



2017年10月13日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
外務大臣 河野太郎 様

日本 YWCA
会長 藤谷佐斗子
総幹事 尾崎裕美子

日本政府の国連提出の「核兵器廃絶決議案」に抗議し 核兵器禁止条約への批准を求める要望書

10月11日、日本政府は、国連総会に「核兵器廃絶決議案」を提出しました。報道によるとこの決議案の内容は、今年7月7日に国連で採択された「核兵器禁止条約」そのものには一切触れられてはいません。米国などの核兵器保有国や日本政府がその条約に賛成していないことを踏まえて、核兵器の完全な廃絶を求める内容を弱めて核拡散防止条約のみを強調し、さらには「北朝鮮」の核実験・ミサイル発射実験への国際社会からの強い反対を示して、国際的核不拡散体制の強化が国際的平和と安全保障に不可欠であると記すなど、昨年の決議内容から大きく後退するものでした。

7月の核兵器禁止条約の採択にあっても、日本政府は、唯一の戦争被爆国でありながら、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の声をないがしろにして核兵器禁止条約に反対しました。その態度に加え、今回提出した決議案の内容は、「核軍縮」よりも核保有国を容認して軍事による「安全保障」を優先する日本政府の姿勢を浮き彫りにしたといえるでしょう。

私たち日本 YWCA は、このような日本政府の姿勢に対して強く抗議します。

日本政府のなすべきことは、核拡散防止条約より前進した核兵器禁止条約を支持し、核保有国へこの条約への批准を働きかけることです。

日本 YWCA は、日本政府に以下を要望します。

- 一、 日本政府は、核兵器禁止条約に批准すること
- 一、 今回国連に提出した「核兵器廃絶決議案」を、核兵器禁止条約について言及したものとし、それを成立させた市民社会と被爆者の方々に敬意を表した内容に修正すること

以上